

平成15年度「経済学と現代」夜間主コース —期末試験問題—

【問1】短期費用関数に関する誤った記述(1つ)は、次のうちどれか?(5点)

- (1) 生産量がゼロならば短期総費用はゼロとなる。
- (2) 生産費用の中に固定費用が存在するような期間を短期という。
- (3) 短期平均費用は、平均可変費用と平均固定費用の和である。
- (4) 短期平均費用曲線はつねに平均可変費用曲線よりも上に描かれ、限界費用曲線はこれらの曲線の最低点を通る。

【問2】短期利潤最大化に関する正しい記述(1つ)は、次のうちどれか?

(5点)

- (1) 完全競争市場において、価格支配力を持つ企業が存在する。
- (2) 短期において、財の市場価格がある企業の限界費用を下回っていれば、その企業は財の生産を増やす誘因を持つ。
- (3) 短期において、財の市場価格がある企業の限界費用を下回っていれば、その企業は財の生産を減らす誘因を持つ。
- (4) 短期平均費用の最小値と等しくなるまで価格が下がると、企業は操業を停止する。

【問3】生産関数に関する正しい記述(1つ)は、次のうちどれか?(5点)

- (1) 生産関数は企業の生産技術を反映したものであるが、生産要素投入量と生産量との間の関係を明示したものではない。
- (2) 限界生産力逓減の法則とは、生産要素の追加投入から得られる生産量が投入量とともに減少していく性質のことである。
- (3) 生産関数から短期費用関数を導くことはできない。
- (4) S字形の生産曲線からは、S字形の短期費用曲線が描かれる。

【問4】市場均衡に関する誤った記述(1つ)は、次のうちどれか?(5点)

- (1) 市場供給曲線は、個々の供給曲線を水平方向に足し合わせることで得られる。
- (2) マーシャル的数量調整が行われる市場においては、超過需要があれば価格が上昇し、超過供給があれば下落するように調整される。
- (3) ワルラス的価格調整が行われる市場においては、超過需要があれば価格が上昇し、超過供給があれば下落するように調整される。
- (4) 市場需要曲線が左下方にシフトすれば、均衡価格は下落し、均衡数量は減少する。

【問5】以下に関して経済的な説明を与えなさい。(計10点)

- (1) 市場価格 > 限界費用を満たす生産量は、企業の短期利潤を最大にしない。なぜか?(5点)
- (2) 企業は赤字を負っても操業を続ける場合があるが、なぜか?(5点)

【問6】ある企業の生産量を q とし、短期費用関数が以下のように与えられる。

$$C = q^3 - 3q^2 + 18q + 15 \quad (\text{計30点})$$

- (1) 平均費用, 平均可変費用, 限界費用をそれぞれ求めなさい。(10点)
- (2) 市場価格が 27 であるとき、この企業にとっての最適生産量と利潤を求めなさい。ただし、 $q \geq 0$ である。(10点)
- (3) 市場価格が 15 であるとき、この企業は操業を停止することを示しなさい。(10点)

【問7】ある財の価格を p , 数量を x で表し、 DD 曲線を市場需要曲線, SS 曲線を市場供給曲線とする。(計20点)

- (1) 市場需要曲線, 市場供給曲線, 市場均衡点, および均衡価格を解答欄のグラフに描きなさい。(6点)
- (2) 市場均衡における社会的余剰を解答欄のグラフに描きなさい。(6点)
- (3) 解答欄のグラフにある x' が市場全体の供給量であるとき、死荷重損失(厚生損失)をグラフに明示しなさい。ただし、 x^* は市場における均衡数量を表す。(8点)

【問8】ある財の価格を p , 数量を x で表し、 DD 曲線を市場需要曲線, SS 曲線を市場供給曲線とする。さらに、この財の外国からの輸入を禁じたときの国内均衡価格を p' , 自由貿易下での価格(世界価格)を p^* とする。

(計20点)

- (1) $p' > p^*$ であるとき、自由貿易の利益(社会的余剰の増加分)を解答欄のグラフに明示しなさい。(8点)
- (2) 政府が輸入品1単位あたりに t の関税を課すものとする。 $p' > p^* + t$ であるとき、この関税政策による死荷重損失(厚生損失)と政府の関税収入を解答欄のグラフに明示しなさい。(12点)